



芝の苗を校庭に植える庚午小の児童や保護者

芝は繁殖力が強く、手入れが簡単な品種ティフトン。参加者は、校庭の約4千平方㍍を約5㍍間隔で掘り返し、苗約2万株を植えました。弟と参加した6年次部桃花さん(11)は「ドッジボールをしたら絶対に気持ちいいと思う」と完成を心待ちにしていました。

管理は、PTAや老人会、体協でつくる委員会が担当し、朝夕の水やりや肥料の投入を交代で続ける。9~10月には緑が広がる予定で、三世代グラウンド

## 庚午小の校庭芝生化

### 地域で管理 600人が汗

広島市内の公立学校で初めて校庭が全面芝生化となる西区の庚午小(913人)で20日、芝の植え付け作業がありました。児童や教職員、住民たち約600人が、秋に仕上がる「緑のじゅうたん」を思い浮かべながら汗を流しました。

(藤村潤平)

### 苗植え緑の交流心待ち

ゴルフ大会を開く計画もある。庚午地区社会福祉協議会の打越歎会

市内の公立学校の校庭芝生化は本年度、安佐南区の安西小でも実施され、26日に植え付け作業がある。芝刈り機の購入費など両校の経費計475万円は、県教委が全額補助する。

八丁堀  
福屋北へ100m

**井尻眼科**

院長:井尻 博三  
副院長:井尻 真澄  
●白内障手術●  
(日曜)  
082-227-8600

長(71)は「芝生化を通じて、地域での対話をさらに深めたい」と歓迎していた。

協定を大きく育てるという天からのメッセージではないかと思う」と関係強化を誓った。中村会長は「大学の知識と融合し、新たな観光の取り組みができる」と期待する。

### 校庭へ芝植える 本格化に住民も

西区の庚午小学校

【西区】地元広島市西区の市立庚午小学校(山崎幸徳校長)で20日、児童や地域住民600人が参加して芝生の苗を校庭に植えた。広島市の学校グラウンド芝生化の初めての本格的な取り組み。2ヶ月後くらいには、一面の鮮やかな緑を見ることができそうだ。表面が土のグラウン

ドのおよそ4000m<sup>2</sup>にティフトンという種類の芝生を植えた。維持管理がしやすいとう。グラウンドに碁盤の目状に印の線を引き、バランス良く苗を植えていく。踏み固められた硬い地面を深く掘り、しっかりと根付くようになると願いながら大人も子どもも汗を流した。

同校では、既に昨年、校庭の一部およそ300m<sup>2</sup>に試験的に芝生を植えた。育ち具合や使の仕方などを確認している。

校庭では、既に昨年、校庭の一部およそ300m<sup>2</sup>に試験的に芝生を植えた。育ち具合や使の仕方などを確認している。

ドの水やりや施肥、定着後の維持をはじめとする管理は、庚午地区社会福祉協議会(打越歎会長)や西区社協、同校PTA、おやじの会、



校庭に広がり植え

**広島市民版**